

流木処理炭焼き窯

受賞機関 国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所

はじめに

飯豊山系砂防事務所では、土砂調節機能の向上や魚道機能の確保、低質の改善等の環境に対する配慮等を目的として、既設の砂防えん堤のスリット化を進めるとともに、流木による流路や橋梁の閉塞を防ぐため、流木止工を設置し、その効果を発揮している。

流木止工や砂防堰堤に流れ込んだ流木は、放置しておくとし施設の機能を損なうため、これまでは撤去し、一般廃棄物として処分してきた。

流木処理炭焼き窯は、流木を資源として有効活用し、「リサイクルの推進」を図るもので、流木のリサイクルを進めるとともに、あわせて、地域と連携し水質浄化や総合学習などへの利用を進めているものである。

施設概要

黒炭製作窯：高さ1.7m×幅2.25m×奥行き2.7m
容量4.5m³

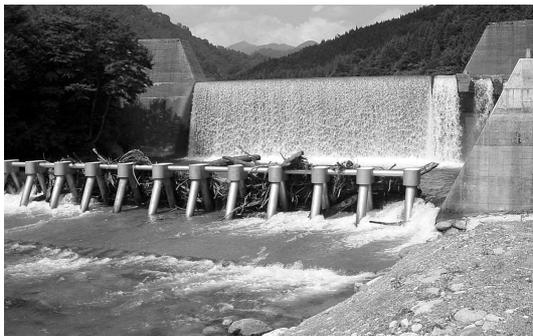
1窯の原木量：約34m³ 2,700kg

1窯の生産量：270kg（18俵）

炭焼き窯の成果

現在、この流木処理炭焼き窯は、流木のリサイクルを進めるとともに、地元の小学生が総合学習に利用しているほか、教育委員会行事や地域の子供会活動等にも利用されている。

今後とも炭焼き窯を媒介として地域、学校及び行政の三者間で連携を図り、多くの方々に参加してもらえるよう取り組みを進めていくこととしている。



流木止工による捕捉状況

また、地元の特別養護老人ホーム等の福祉施設や町立病院においても、炭としての利用や施設内の消臭材、花壇の土壌改良材として利用され、好評を得ているほか、炭の浄化作用の性質を生かし、工事現場の濁水の浄化や水辺の楽校の水質浄化施設等にも利用を進めている。

さらに、地元山形県小国町では、築窯及び製炭技術が途絶えていたが、流木処理炭焼き窯により途絶えていた伝統ある窯の形式が再現製作され、築窯及び製炭技術の伝承にも寄与している。

おわりに

今後とも当地域をはじめ、流域全体の美しい自然環境の保全と地域住民が安全で安心して生活できるように砂防事業を推進していくとともに、この「流木処理炭焼き窯」を媒介として、かつての資源循環の思想と伝統技術を継承し、地域とのコミュニケーションを図りながら、砂防事業への理解を図っていきたく考えている。



大学生による炭焼き体験



小学生の総合学習